

平成26年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	フリースペースあかね (担当者 中山 遼)			
	合同実施団体 (* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	岡山市教育委員会指導課		電話	086-803-1592
	担当者 2名	職名	教育支援室室長		職名
		氏名	松浦 敏之		氏名
事業の名称	不登校・引きこもりの青少年支援事業				
本事業により解決を目指した課題とその成果 ※アンケートなどあれば添付してください。	<p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事務教育過程の児童生徒、公的な支援が少ない中学卒業以降の不登校や、引きこもりを含めた青少年への切れ目のない居場所の提供による、不登校の深刻化や引きこもりへの移行の防止。 2. 電話相談や訪問相談などの相談事業による、既に引きこもり状態にある青少年とその家族への支援の充実。 3. 一般の方や当事者を持つ家族に対して、不登校の子の気持ちを理解してもらうための啓発活動。 <p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中学卒業以降の若者に対して、より切れ目なく支援提供が提供できるようになり、高校中退者・ひきこもりなどの若者を中心に利用者が月平均 8.1 人 増加した。本事業中に学校復帰及び進学を果たしたものは 3名、なんらかの仕事に就いた者は 2名、不定期ながら学校に出席しているものは 3名 確認。 2. 電話相談の相談件数は 57件。訪問相談の相談件数は 40件、訪問相談によって高校受験進学を果たしたケースを 1名 確認。 3. 8月に啓発イベントとして行った、不登校の子たちの絵画・ポエム・書道などを展示した「あかねの展覧会」では、合計 93人 の方に来場を頂いた。また「不登校の子どもの素直な気持ちが飾らない言葉で書かれていて、ストレートに学校の現状やその子どもの辛さが伝わってきた」など、不登校の子への共感や理解を示された感想を数多く頂いた(別紙参照)。 4. 11月に啓発イベントとして行った。不登校を題材にした映画の上映および、不登校の当事者や社会復帰を果たした元当事者やその親など集めシンポジウムを行った「あかねの集い～当事者が語る！本当の気持ちと居場所のちから～」では、合計 60名 の来場を頂き、「このような居場所は絶対に必要だと思いました」「体験に裏打ちされた言葉が響いた」などの共感や理解を示された感想を数多く頂いた(別紙参照)。 				

<p>市と協働した内容と協働の効果</p>	<p>1. 団体が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 居場所事業での指導や管理、運営 ② 電話相談員の配置と訪問相談員の派遣 ③ 各種啓発イベントの管理と運営 <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 適応指導教室や教育相談室などに来所する利用者や、卒業する生徒やその保護者への紹介と広報 ② 各種イベントの後援や広報 <p>3. 協働した効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 担当課の紹介や広報による利用者の増加 ② 各種イベントの後援や広報による参加者の増加と一般の方への周知 ③ 岡山市の他の支援団体・支援者との連携の強化
<p>事業の内容</p>	<p>居場所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平日の12時～16時半までの間居場所を開設し、当事者同士の交流の促進および、個別の相談等を行う。 ② 遊び、スポーツ、ゲーム、学習、料理などの各種活動やイベントを行う。 <p>訪問相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 不登校引きこもりの当事者のうち、どこの相談機関にも関わらず、既に引きこもってしまっているケース、何らかの事情で相談に来られない親などに向けて、自宅や喫茶店などで訪問相談を行い、ケースに応じては居場所への参加に繋げる。 <p>電話相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 不登校引きこもりの当事者やその家族への電話相談を行う。 <p>啓発イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 定期的に会報誌を発行し、体験記、イラスト、ポエムなどで利用者の表現を場を作るとともに、一般の方への啓発に繋げる。 ② 不登校の子の絵画、ポエム、書道などの作品を展示する『あかね展覧会』を行い、当事者の気持ちを発信し、一般の方への啓発に繋げる。 ③ 不登校を題材にした映画の上映および、不登校の当事者や社会復帰を果たした元当事者やその親など集めシンポジウムを行う「あかねの集い～当事者が語る！本当の気持ちと居場所のちから～」の開催し、一般の方への啓発に繋げる。
<p>事業実施の体制・実施者名</p>	<p>1. 総括責任者 徳方宏治</p> <p>2. 個別事業責任者 中山遼、岡本朋子</p> <p>3. その他事業従事者 役割・氏名</p>

事業実施経過	月 日	実施内容
	7月1日	居場所・電話相談・訪問相談 開始
	8月23日 24日	あかね展覧会
	11月9日	あかねの集い～当事者が語る！本当の気持ちと居場所のちから～
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割
本事業を踏まえた、翌年度以後の予定	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	<small>具体的な計画があれば記載してください。</small>	

平成26年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	不登校・引きこもりの青少年支援事業
------------	-------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	9,403	
	その他	0	
自己資金等合計(a)		9,403	
事業収入	居場所 参加費	361,600	参加費{2000円(月一人平均)×10人×9ヶ月}
	訪問相談 利用料	18,500	利用料1000円×相談者10人×18日
事業収入合計(b)		380,100	
その他収入		0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		1,400,000	
収入合計(e)=(a)+(b)+(c)+(d)		1,789,503	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	居場所	853,500	指導員1人分人件費{3000円×180日}
	電話相談	544,500	相談員1人分人件費{3000円×180日}
	訪問相談	117,000	訪問人件費{3000円×相談者10人×18日}
	あかねの集い	48,928	会場費・備品代・チラシ代
	あかねの展覧会	73,329	会場費・画材代・チラシ代
	会報誌発行	36,654	
事業実施経費合計(f)		1,673,911	
管理運営経費	事務費	41,994	電話代・インターネット料金
	通信費	73,598	事務用品・印刷費
管理運営経費合計(g)		115,592	
総事業費(h)=(f)+(g)		1,789,503	

- (添付書類) 1. 領収書等支払を証する資料は費目ごとに分けて写しを添付してください。
2. 高額となる経費については、印刷した現物や証拠写真などを添付してください。